

進路だより

発行：平成25年10月30日

1 進研模試（総合学力テスト）について

(6) 模試受験前の目標設定

■目標設定の目安

進研模試でのおおよその目安を目標設定時の参考にしましょう。※この数字は目標設定のためのおおよその目安です。

大学のレベル	東京大・京都大レベル	難関国公立大レベル	国公立大合格下限レベル
全国順位(国数英総合)	3,000~4,000番以内	20,000番以内	120,000番以内
全国偏差値(国数英総合)	76程度	68程度	56程度
得点(国数英 300点満点)	約225点	約195点	約135点
得点(1教科 100点満点)	約75点	約65点	約45点

■目標記入シート

事前準備として、これまでの学習を振り返ってみましょう。その振り返りから、今回の模試の目標・事前学習の内容を記入しましょう。

	得意? 苦手?	7月時点の得点・ 校内順位・偏差値	7月時点の学習課題	→	優先	目標(点)
					順位	事前に学習すること
国語	得意	点		→	1 2 3	点/100点
	普通	校内順位()				
	苦手	偏差値()				
数学	得意	点		→	1 2 3	点/100点
	普通	校内順位()				
	苦手	偏差値()				
英語	得意	点		→	1 2 3	点/100点
	普通	校内順位()				
	苦手	偏差値()				

(7) 校外模試受験Q & A

Q1	全国模試を受験した後はどうすればいいですか？
A1	受験当日、覚えているうちに見直しと復習をすること！
<p>模試受験後は、受験で明らかになった自分の弱点を復習することが何より大切です。模試では、押さえるべき重要ポイントが出題されていますので、間違えた問題はそのまま、今のキミの弱点だと言えます。ですから、これを復習して完璧に解けるようになれば、キミの弱点は解消されるというわけです。実は、「解けなかった悔しさ」や「どう考え、どう解答したか」という記憶が鮮明に残っていて、頭をフルに使った直後で脳が活性化している受験直後は、復習の効果が最も高いタイミングです。まずは受験後に配られる「解答解説」で自己採点してみましょう。さらに、間違えた問題を解き直すことで実力がついてきます。模試用の復習ノートを作るのも一案です。</p>	

Q2	冬休みには何に気をつけるべきですか？
A2	時間の使い方を工夫して、短期的な学習計画を立てよう！
<p>中等4年生では、まだ実力に波があります。ですから、この冬休みの過ごし方こそが、5年生以降の成績を大きく左右するカギを握っています。そこで冬休みは時間の使い方を工夫することが大切です。次に挙げている学習の例を参考にしてみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none">① 問題集を1日5ページ学習するなど、毎日継続して行う学習内容を決める。② 1日にすべきことを明らかにして、それが終わるまで集中して学習する。③ 1日の時間割を設定し、取り組みやすい（得意な）教科から学習するなどの工夫をする。④ 比較的集中しやすい朝と夜に必ず学習する時間を設定する。	

(8) 先輩からのメッセージ

苦手科目は克服すればいい
国公立大 看護・保健学系統 A先輩
<p>医療系に進みたいと決めたのが4年生の4月。それまでは自他ともに認める文系人間の私が、理系に進もうと決めたのもその時でした。とにかく数学嫌いを何とかしようと決心し、問題集を4～5回繰り返して解きました。その結果、どういうわけか数学が好きになり、計算まで速くなり、今では一番の得意科目になってしまいました。苦手は克服すればいいのです。得意・不得意で決めるのではなく、将来を見据えて決めた方がいいと思います。</p>

自分のやりたい勉強をして、将来のことが見えてきた
私立大 工学系統 D先輩
<p>4年生の時は日本語日本文学科をめざしていた私。数学は小学校の頃から大の苦手だった。ところが、4年生の時、数学を教えてくれた先生の授業が楽しくて、5年生になっても数学を勉強したくなった。はっきり言って、数学よりよほど国語の方が成績がよかったので迷ったけれど、親が「何より自分の興味があるものを大切にしてください」と言ってくれたので、思いきって理系に決定。その時は、大学のことも就職のことも考えていなかったけれど、自分のやりたい勉強をして大学のことや将来のことが見えてきたと思う。</p>